

さくら

題字 足立区長 近藤 やい
足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会
会 長 中 田 貢 弘
編 集 広 報 部 会
発 行 日 2008年3月1日
〒120-8510
足立区中央本町1-17-1



シャボン玉で散歩 高野小5年 中島千恵梨 作

目 次

会 長 紹 介	2
退任・新任委員紹介	3
委 嘱 状 伝 達 式	4
心 の 健 康	5
成 年 後 見 制 度	6
子 育 て 応 援 団	7
民 事 協 だ よ り	8
編 集 後 記	

「新年度にあたって」

会長 中田 貢弘



足立区民生・児童委員協議会会長 中田貢弘は、はからずも皆様の御推輓によって三期目の会長をもさせていただくこととなりました。この職が全うできるか否かは、会員各位の御支援がなくてはなし得ません。冒頭、心から伏してお願い申し上げる次第です。

さて、昨今では資質・品格というものが何かと話題になってきております。委員各位は64万区民の中から選ばれた553名の自負を持って活動に邁進していただきたいと思います。そのためには、「長幼の序」「信なくば立たず」を大事に守り、区民皆様

の付託に応えなければなりません。近藤区長のおっしゃる「住み続けたい足立区」づくりに末端で協働していこうではありませんか。

今、足立区は全てに大きく変わろうとしている時です。高齢者、介護、障がい者、生活保護被保護者などの良き相談相手として、また、地域の安心、安全のリーダーとしてご尽力いただくことを願って、新年度の挨拶とさせていただきます。

「感謝」



各 会 長 紹 介

合 同 会 長



第一合同
4 地区
安藤順子



協議会会長
第四合同
9 地区
中田貢弘



第二合同
18 地区
猪俣勝美



第三合同
11 地区
宮田壽美子



第五合同
鹿浜地区
岸 一夫



第六合同
竹の塚地区
浅井米子



第七合同
東栗原地区
宮崎十三

地 区 会 長

第一合同



常東地区
柳川峯子



3 地区
江原正太郎



5 地区
平林 治

第二合同



佐野地区
相澤明義



神明地区
堀井洋二



東綾瀬地区
吉田幸雄

第三合同



6 地区
野寺保治



10 地区
中島千代

第四合同



7 地区
瀬田敬一郎



8 地区
阿出川信夫

第五合同



江南新田地区
飯塚 茂



13 地区
八木富美子

第六合同



14 地区
山田きの



15 地区
山本祥一



溯江地区
須賀善一

第七合同



17 地区
清水一弥



花畑地区
有馬妙子



19 地区
鶴飼政次

研究部会



子育て支援
研究部会
中浦君枝



児童福祉
研究部会
大室 博



障害者福祉
研究部会
江川 勇



生活福祉
研究部会
根木島大雄



高齢者福祉
研究部会
下嶋良三



主任児童委員
研究部会
小泉貞廣



広報部会
高野 季

ご苦労様でした 退任の皆様

西高高山島高渡鹿田
城本野中崎橋邊角代
城妙恒澄代喜君賀広
夫子幸子子征枝子二
志人ツ教子

敏江子次思	正し輝正	野崎井本	山山薄榎長
子子正子子子子	純貞	谷川	飯今矢塚鈴伊齋
子子子子子	イ恭里昌	同	第
子民	ヨシ全	同	清水屋

[illegible]

子子造哲子子子一雄ヨ修子男安美
美照德利惠惠文賢藤ミ三一恒明
壽野川波登智千田井崎川田山谷野齊
部野川波登智千田井崎川田山谷野齊
我長中岩高山田須岩山淺坂内大中安
曾

夫代子博 夫彦子子子子子子子子
和とし敏 和和道良初利と三枝松明
者井屋澤 田野井殿澤木木田木星藤
武荒森北第斧西花井大青鈴藤鈴能首

子子子子
光ツ代
上力華
村島藤井本
牧田藤井本
春田藤井本
後藤井本
白藤井本
青藤井本
橋藤井本
横藤井本
(敬称略)

新任民生委員 紹介

子男樹子子男泉 親子子雄吾枝
一義秀 栄寿 臣石 圭陽 信次 眞幸
井下 代中 崎籠 住元 藤藤 藤森
笠木 林田 田山 皮第 羽張 工齊 加小

伊藤浅百荻鷺大第三合同酒滝岡濡稻望池
藤田香久竹勝井上本髪見月田
公厚代久竹勝ノ久伊和シ典節
司子子子由巳子子雄美子子子

第四合同
塩井森加國神市小菅木
野上藤井崎川林原下
克み葉宏守久松宏つ
徳子一誠弘美子美子子
第五合同
高風松
橋見鳥
八み勝
郎子己

雄子生枝江 子子苗示男子子子治
幸佐百美静 芳五早人国政智和芳
村部本嶋木 藤山野井波 中上目
中野松中鈴第六 後杉小土高林田井磯

代子	一子	透子	雄子	子子	男子	子子
道信	淳千	シ和	行紀	同英	京幸	麻枝
分本	村藤	賀田	本田	澤合	村部	野田
國山	田齋	須坂	西坂	梅第	中岡	西横
						遠

子雄子江子靖彦子子久一子子
政行枝津弘和慶清勝誠正日出
田木三志崎橋田海塚橋田江
柴鈴金福仲近高細鳥大高岡堀
(敬稱略)

足立区民生・児童委員協議会会長（連合会長）



足立区は活動記録提出100%継続を目指します

民生・児童委員 委嘱状伝達式



平成19年12月13日、民生・児童委員の委嘱状伝達式が西新井文化ホールで行われました。

近藤区長が、厚生労働大臣から委嘱を受けた535名の方一人ひとりに、名前を読み上げると、丁寧に頭を下げてご挨拶くださいました。細やかな心づかいに感動し、責任の重さを改めて痛感いたしました。

た。また、区長から、格差のない福祉行政について、子育て支援だけでなく子ども支援に力を注ぎたいとの力強い決意の挨拶がありました。福祉の一端を行政とともに進めていき、独居高齢者、子どもの虐待の問題等含め、地域の福祉のためにまた明るく住み良い足立区を作るために頑張っていきたいと思えます。

(6地区 内藤久子 記)



▲近藤区長

第61回 東京都民生・児童委員大会 文京シビックホール

10月15日、毎年行われている東京都民生委員・児童委員大会が文京シビックホールで開催されました。式典は、国歌の斉唱で始まり、平成18年10月1日～翌年8月31日までの間にご逝去された18名のご冥福をお祈りし、追悼の黙禱がありました。主催者あいさつ、表彰状贈呈729名（うち足立区45名）と進行したのち、ご来賓3名の祝辞や被表彰者代表の謝辞などがあり、議長団による大会宣言案が上程されました。



新田小4年 五家紗由奈 作

宣言案の内容は、「本年は民生委員制度90周年記念の年である。この間、民生・児童委員の役割は戦前の救貧活動から戦後の生活保護の補助・協力機関へと変わり、現

在のような地域福祉サービス全般に関わる活動になってまいりました。少子高齢化が到来し、家族関係や地域社会をとりまく状況が変化し、課題が多様化、複雑化している。子どもをとりまく環境は一層悪化し、虐待・犯罪に巻き込まれるなど深刻な問題である。一方、高齢者分野では、高齢世帯の見守り、高齢者を対象とした被害なども重要な課題である。その他、障がい者が安心して生活できる仕組みづくり、安心して子どもを産み、育てられる環境の整備、また、災害・犯罪のない町づくりを目指している。これらの課題に対しては行政・地域・関係団体の力を生かしながら、より良い効果的、効率的な施策を進め、行政と住民のかけ橋である民生・児童委員の役割は重要である」との主旨が朗読され、採択されました。

2部は、猪熊律子氏による「社会保障制度の将来像」という演題の記念講演があり16時に閉会になりました。

(8地区 田中栄一 記)

都知事表彰の皆様

篠田節子	清水一弥	渡辺よし子	川島恵美子
源崎英子	塩見美代子	島田晴子	原田玲子
星野洋子	柳川峯子	西村真知子	三崎登子
當麻勝彦	横田忠克	浅賀和子	石鍋ヒデ子
鈴木恵美子	猪俣勝美	八木富美子	太田富美子
阿出川信夫	山野榮治	山田きのの	栗原和子
熊倉正夫	板垣壽春	武内啓友	(敬称略)
國井登利	中山佳子	鈴木岑子	
村山道隆	塚越テイ子	斧田和夫人	
水野はな子	隈元千代子	鳥海和純子	
堀家幸子	土屋全民	関根純子	
下田尚保	佐藤菊江	大木ヨシイ	
荒井和代	海老原多美子	小林勝子	

足立区表彰

- 徳行者
足立区民生・児童委員協議会
- 社会福祉功労
五合同 江南・新田地区 飯塚 茂
五合同 19地区 牛久保満子
五合同 19地区 北村孝子
三合同 10地区 武田寿子
(H19.3.31 退任)
*在職15年以上(平成19年10月1日現在)

民生委員制度創設90周年
記念事業スローガン

広げよう
地域に根ざした 思いやり

私の勤務している東京足立病院は、足立区で地域に根ざした医療機関を目指し、様々な年齢の方へ精神科の医療を提供しています。若い世代に関しては外来のみでなく、ストレスケア病棟を利用しての入院治療などもおこなっています。

そんな中で、最近は、今まで中年期の病気とされていた、うつ病や抑うつ症状を訴える10～20代が増えています。しかし青少年期の症状は中年期の症状とは大分様子がちがいます。無気力になって憂うつな気分が続くのは、共通しているのですが、それは表面的な症状で、背後には摂食障害・自傷行為・パニック発作の繰り返しなど複雑な問題が隠れていることがあります。

また大人のうつ病と違うところは、自責の念が強いというより社会や周囲に対する拒絶感や自分の将来を

悲観的に捉えていることが多く、また対人関係のストレスにとっても敏感です。つまり対人関係については、「戸惑い」や「嫌われたくない」という思いから予防線をはってひきこもってしまったり、ちょっとした上手くいかなさから落ち込んでしまったりします。そうなるとお薬での治療だけでなく、対人関係能力、つまりコミュニケーション能力を育てていくことが必要になってきます。また将来に対して悲観的になってしまう面は、大人の影響も大きいと思われます。

時代がどんなに変わっても、やはり子どもや若者は大人の背中を見えています。大人自身が将来に対して希望や理想をもち、生き生きとすごしていくことが必要なかもしれません。

(東京足立病院 新垣多恵 心理士)

第12回心の健康フェスティバル開催

日時 3月8日(土) 会場 庁舎ホール

こころの病を持つ方々が共に生きる社会を実現するために、力を合わせてお互いに助け合いながら活動を行っています

セレモニー・演芸発表会・模擬店コーナー・作品展示コーナー・団体紹介コーナー

民生委員協議会協賛の毎年大盛況のバザーを開催

坊ちゃん観劇 シアター1010

11月10日、千住シアター1010において夏目漱石生誕140周年、わらび座ミュージカル「坊ちゃん」の観劇会が開催されました。脚本、演出をされたジェームス三木さんと初日を鑑賞しました。わらび座の熱気あふれる舞台は笑いあり、ちょっぴり涙ありの躍動的な



すばらしい観劇会でした。

足立区では区立学校芸術鑑賞教室として、今年度は小中学校生9千人の鑑賞を企画しています。学生たちも「坊ちゃん」の無鉄砲だけれど曲がったことが大きい生き方に、何かを感じてくれることでしょう。

来年度は「火の鳥」が予定されています。芸術の秋を楽しませてもらいました。これからは読書の秋も楽しんでいきたいと思いました。

(5地区 松本はな子 記)

とくらにゅーす

少年少女スポーツ大会

(六木4丁目町会子ども会 会田登志枝 会長)

今年で28回目となる夏休み恒例の少年少女スポーツ大会は、小・中学生の有志が町会対抗でチームを作り、集団競技の中で思いやりと責任を自覚しつつ、大きい子も小さい子も一緒に汗を流します。

ここで忘れてならないのが、日頃の運動不足の身体にムチ打ちながら、エネルギー溢れる子ども達と共に汗を流して指導している地域の大人たちです。近頃は隣近所で生活していてもふれ合う機会のない双方ですが、このひと月程を過ごすことによりお互いの顔を知り、道で会えば挨拶を交わすことができます。

昨今、地域ぐるみで子どもを育てようと叫ばれていますが、その点では、これ以上ないイベントだと思います。

今年で28回目となる夏休み恒例の少年少女スポーツ大会は、小・中学生の有志が町会対抗でチームを作り、集団競技の中で思いやりと責任を自覚しつつ、大きい子も小さい子も一緒に汗を流します。



民生委員・児童委員発

災害時一人も見逃さない運動



軽い認知症状のあるAさんは、ヘルパーなどの介護保険サービスを使いながら一人暮らしをしています。子どもがいないAさんにとって唯一の親族は姪です。そこで、金銭管理は姪にお願いし、月に1回使う分だけのお金を届けてもらっていました。昨年の夏、姪が体調を崩したことをきっかけに、グループホームへの入所を考え始め、その準備を進めてきました。ところが、手続きなかばで、姪が亡くなってしまいました。これまで進めてきたグループホームへの入所や入所後の利用料の支払い、あるいは、住んでいるアパートの引払いなど、Aさんの代わりにやってもらう人が必要となりました。

このような場合、成年後見制度を活用することがで

きます。Aさんの認知症は軽度なため、Aさんが申立てをすることにしました。ただ、問題は誰に後見人を担ってもらうかということでした。裁判所の統計では、成年後見人等の8割近くは親族が選任され、それ以外は弁護士、司法書士、社会福祉士等の第三者となっています。あらかじめ成年後見人等の候補者を立てて申立てをすることができます。

Aさんの場合は、社会福祉士の団体に候補者を紹介してもらい、その社会福祉士を候補者として申立てしました。約2カ月後、その社会福祉士が選任され、無事グループホームに入所することができました。

(権利擁護センターあだち

アルマルカウイ 恵子 課長)

中部福祉事務所高齢援護係のご紹介

平成12年に介護保険制度が導入されて以来、高齢者の福祉は行政と民間介護事業者、そして民生委員の方がたを中心としたあんしんネットワークによって支える体制ができました。この中で、行政の役割は縮小するという見込みで5つの福祉事務所にあった高齢援護係は、現在1カ所に縮小されました。しかし、民間事業者では対応が困難な高齢者虐待の問題や、高齢者自らが支援サービスを拒否するセルフネグレクトケース等には、行政の措置による対応がどうしても必要です。そして独居高齢者、高齢者のみ世帯の増加に伴い、このような行政が関与せざるを得ない困難なケースが増

加し続けています。

また、これらに対応するもう一つの有力な仕組みとして期待される成年後見制度の推進等を担っているのも高齢援護係です。社協の権利擁護センターや、25カ所の地域包括支援センターと協力しながら、刻々変化する高齢者福祉の課題に対応すべく、努力しています。一見地味な職場ですが、民間と行政と区民をつなぎながら、高齢者問題の最後の拠り所として、また、高齢者福祉が適正に実施されるための法令遵守の要として業務に邁進しています。今後ともご助力を宜しくお願いいたします。

(高齢援護 渡邊一郎 係長)

第7回 あんしんネットワーク合同研修会



▲第7回あんしんネットワーク合同研修会

10月24日、庁舎ホールであんしんネットワーク合同研修会が開催されました。「いま、私たちにできること」をテーマに事例発表がありました。高齢者が孤独にならないように仲間づくり、居場所づくりに心がけ、社会との関わりをもたせます。そして高齢者が安心安全で快適な生活を送れるように地域ぐるみで「気

づく」しくみを作るようにします。

そのためには地域の方がた、自治体、福祉が一体となり高齢者を見守り、声かけをし、少しの変化も見逃さない活動が必要です。私たちは、高齢者と社会との橋渡し役になり、よりよい環境を作って行きたいと思います。

(13地区 宇田川幸栄 記)

ご存知ですか 認知症サポーター養成講座

サポーター養成講座は、1時間程度で「認知症の基礎知識」や「理解」についてスライドを見ながら講義を受けました。サポーターの役割は認知症の正しい知識や付き合い方を理解し自分のできる範囲で認知症の人々や家族を暖かく見守る後援者でよいことです。サポーターには認知症を支援する目印のオレンジリングを渡され、無理にではなく自分でできることから始めてくださいとのことでした。まず認知症か否かを見極めて家族の意見も聞きながら、

介護支援センターの職員さん、役所の方々と協働で一番よい方向に持っていけたらよいと思います。厚生労働省では全国で100万人、東京都では5000人を予定しています。民生・児童委員の皆様も進んで講義に参加してください。

(11地区 須田陽子 記)



子育て応援団・親の決断

私が小学校の校長室を訪問している際「お母さんが職場に子どもを連れて行ってしまうので学校に来られない子どもがいます」との話がありました。K君5年生、お母さんは顔見知りの方でした。数日後お母さんから「相談したい」と電話が入りました。ご自身は真面目に子どもたちのことを考えて、一生懸命働いて子育てを頑張ってきたことを3時間近く切々と話されました。最後に「また電話していいですか」と言われました。

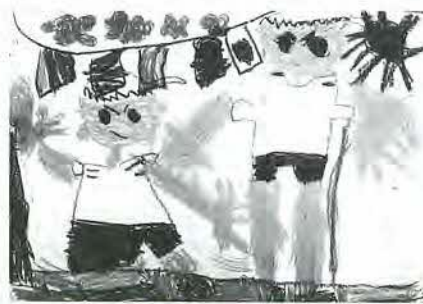
K君は父・母、歳の離れた姉の4人家族です。K君は家族が大好きで、人なつっこくとても素直な子です。両親は離婚を考えています。姉はアルコールとタバコでダイエットを試みるフリーターです。家の中は、人が一人通れる幅を残し、物が高くつまれた状態で、部屋は万年床、ブランドの衣服が高く積み重ねられています。

見守り、話し合い、かかわりを始めて三カ月もした

ころ、引越しをすることになりました。夫婦も離婚を思いとどまり、子どもたちのことを一番に考えることにし、姉も定職を考えるようになり、K君も転校し、家族がそれぞれに新しい生活へ出直しました。

K君もとても元気に学校に通っています。子どもたちは親たちの生活に翻弄され、家族が壊れていく不安を抱きながら、自分の居場所を作ろうと必死に生活していることを痛切に感じた事例です。

(主任児童委員 A 記)



宮城小1年 茅野孝平 作

すこやかネットワーク

第13回「私達の伝えたいこと」と題した子どもたちのメッセージを発表する会が鹿浜第一小学校で開催されました。この催しは今回で13年目になりますが、最初は西部福祉センター、西部児童館を中心に、主任児童委員、民生委員、地少協会長が集まり「すこやかネットワーク」と銘打ち始めたものです。

1回目は地域の校長先生を講師に迎え、少人数ではありましたが、文字通りひざを交えてのお話をしていただきました。またある時は、近隣の小学校5校の養護の先生にパネラーとなつていただき「保健室から見た子どもたち」というテーマでパネルディスカッションをいたしました。このころはセンターのホールも健在で、300席がいっぱいになる程の盛況ぶりでした。

その後、学校選択の自由化になる前の年には、近隣中学校3校、小学校5校の校長先生に来ていただき、各

校の特徴や取り組み、教育方針などを語っていただきました。今の学校説明会を7校が一堂に会して行うという画期的なものだったと思います。そうこうしているうちに西部福祉センターの建物自体老朽化のため使用できなくなり、隣の鹿浜西小学校の協力で、PTA会長や青少年委員も加わり、さらに大きなネットワークとなつていきました。

再来年度には、福祉センターも住区センターに様変わりし、再び使うことができるようになります。それまでの2年間、青少年委員会12ブロックの方がたにパトタッチをすることになりました。

長い年月を地域と地域の子どもたちのために、民生委員や主任児童委員がこつこつとネットワーク作りに励んで来たことが、いま花が咲いたように思われます。

(鹿浜地区 野辺陽子 記)



▲すこやかネットワーク
私たちの伝えたいこと 聞いてみよう!!
子どもたちのメッセージを

中学生俳句・川柳コーナー

眠くなる教室の窓の桜かな 三年 山本 優里	銀龍草暗い林床一人咲く 三年 山田 圭太	自転車の僕を見送る春紫菀 三年 秋田 拓人	友達の沖縄土産星の砂 二年 徳本 哲久	鮮やかに屋台に並ぶ林檎飴 二年 出口 亜美	秋の夜祖父は遠方な旅に出た 二年 篠崎 千浩	クワガタの脱走始まりの悲鳴 二年 伊藤 湖乃美	素もぐりでサザエを獲った夏の海 一年 市川 健司	夏休み毎日見ている壁の壁 三年 木ノ内 里奈	純白がこぼれるような雪柳 三年 鹿志村 麻衣
--------------------------	-------------------------	--------------------------	------------------------	--------------------------	---------------------------	----------------------------	-----------------------------	---------------------------	---------------------------

足立区立西新井中学校

民生・児童委員協議会からのお知らせ

日程	会議名	場 所
3月8日(土)	心の健康フェスティバル	庁舎
3月11日(火)	会長協議会	区役所13階会議室
3月12日(火)～17日(月)	合同地区民協	区役所13階会議室
4月期	各地区自主研修	各地区指定場所
5月13日(火)～16日(金)	合同地区民協	区役所13階会議室
5月18日(日)～19日(月)	会長協議会研修旅行	鐘山苑(山梨県)
6月～7月	ケースワーカー懇談会	各地区指定場所

みんせいがわらばん

ドイツニュールンベルグ国立歌劇オーケストラ団員と 舎人第一小プラスバンド部との日独交流コンサート

8月25日、舎人第一小学校において森島校長先生の取り計らいで、日独交流サマーコンサートが「開かれた学校づくり協議会」を中心に、地域・PTAの皆様など計300名の参加で開催されました。

ドイツニュールンベルグ国立歌劇オーケストラ団員6名(日本人2名を含む)の方がたを迎えて、舎人第一小学校プラスバンド部、舎一



金管バンド部、マシユアールウインドオーケストラの総勢119名の合同演奏を指揮クルトカールさんの妥協を許さない真剣な身振り、手振りの指導で何度もやり直し、次第にまとまっていくのが実感できました。

ある団員は、我々楽器吹きは「神様の声を皆様に届ける使命」と言っておられました。合同演奏で「君の瞳に恋してる」は素人の私にも心がふるえる感動でした。

舎人第一小学校プラスバンド部の子どもたちは、プロの演奏を生で聴きその後、音楽室でオーケストラ団員による、パート別のレッスンが行われ、収穫の多い一日で次の演奏が楽しみです。

(14地区 森脇久仁子 記)

編集後記

さくら16号が新旧広報部員の合作で完成しました。表紙、カット絵の小学校、俳句・川柳などでご協力をいただいている中学校等多数の皆様のご協力で完成している広報紙です。今後、広報紙の作り

方、編集、校正、紙面レイアウト等、講師の先生をお迎えし勉強を重ね、部員全員、「内容があり、読みやすく、見やすい」広報紙づくりを目指します。
(宮本勝男 記)

小学生掲載絵画および中学生詩歌、俳句の依頼は、

第一合同から第七合同の小・中学校に順番にお願いしております。

■皆様の原稿を募集いたします(原稿は未発表のものに限ります)。次号発行予定日 7月1日

原稿に関しては紙面の都合がございます。事前に地区広報委員にご相談ください。

広報部会	部会長 高野 幸	副部会長 宮本 勝男	会計 川島 恵美子	編集 北嶋 昭夫	編集 細井 力造	校正 田中 榮一	編集委員 望月 縫子	村越 茂	森 春枝	渡辺 照美	楠美 順二	阿部 美代子	山下 節子	石鍋 昭男	北村 信也	校正委員 下田 尚保	川村 育三	大久保 義子	大城 忠鶴	清水 千鶴	加藤 喜代子	秋本 雅信	江川 せつ子	北川 富美子	鈴木 重子